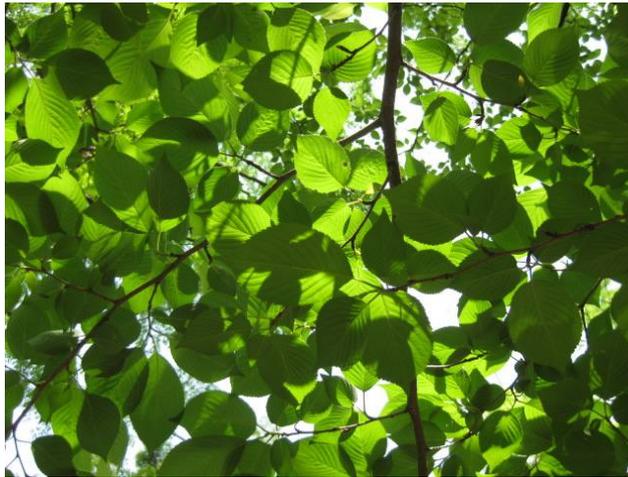

Catch the eye 2016年5月

2016/5/3
(火)

まずは概ね終了

大型連休後半、大阪は午後から曇り空。今夜から明日午前中にかけて雨の予報。熊本の地震があった日から、パソコンがいよいよ言うことをきかなくなり、この連休中までには新しいパソコンを買って、平常どおり仕事できるようにしたかった。それも概ね本日中に終了。

まずはこの更新がうまくいくか、やってみるとしよう。



2016/5/6
(金)

柔軟

大型連休明け、大阪は午後から本降りの雨。新しいパソコンのキーボードの感触と横長の画面に、手と目がまだ慣れないが、ダウンを気にせず作業は進み、快適。それにしても、パソコンなしに仕事できていた頃がなつかしい。

そうだ、ソロバンを使おう。1年前から簡単な計算にパチパチ。10年前に買ったもの。姪へプレゼントした時に余分に注文した。何十年ぶりではじいたか、最初は指の小回りがきかずにビックリ。簡単だけど小刻みな動きに指がついていかない。使わないとこんなことになる。

耳もそう。1年ほど遊学して復職した時、電話をとって自分に驚いた。耳が電話をとる体制になっていない。かけたきた人が名乗るその名前を聞き逃している。電話が鳴った段階で待ち受けになることを耳が忘れてる。人間の体に妙に感心したものだ。

手も耳も目も口も脳も、働くものを働かせる。無理せず、でも楽はせず、日々滞りなく動かす。いい働きのために必要な一つは、柔軟性。身心ともに日々働かせて柔軟に保つ。今年は特にそう心がける。柔軟にかまえて、剛健となす？

2016/5/10 京都国立博物館
(火)

新聞で展示広告で見て時から行くことに決めていた。タイミングをはかっていた。この日が、そのタイミング。



思い出してみれば本当に久しぶりの博物館。新館ができてきた。新緑の季節、雨がまたいい。



早々にこの展示へ出かけた人から勧められ、ちょっとしたワークショップにも参加。くじで禅の言葉をひき、その字を自分で書き、そして担当者から説明を受けるというもの。ひいたのは、「喫茶去」。説明を待つ列のすぐ前の人と同じ「喫茶去」。一緒に説明を聞くことになった。定年退職してまもない印象の男性。奥さんらしき人と一緒。奥さんは別の担当者の方へ行った。二人で「喫茶去」の説明を聞く。人懐っこい感じの担当者が、両方の顔をみながら、一生懸命話してくれる。でも男性は無言、相槌もなし。そこで、こちらがその役を果たす。男性はまだ一般社会慣れしていないのか、もともとそうなのか。



2016/5/12
(木)

トップ

晴天。雨が続いた後だから空気が澄んでいる。青空と青葉、風は涼しく、日陰ではひんやり。早朝4時半ごろにはうっすら明けだし、5時半ごろには日がまぶしくなる。気候がよく、そして日も長い。この季節は欲張りに動くのがいい。学びにも遊びにも仕事にも。

今朝スマホに速報を知らせるアラーム。何かとみると、三菱自動車が日産の傘下に入るというニュース。日経の朝刊トップには載っていたから、それが広がった、たぶん。これでまたリストラが始まる。新聞には会長、社長の写真。重責を担う人にしては…。

そう思わせるトップが最近多い。順送りでその地位になっていくような、実際の経営は別の人がしきっているような、そんな重厚長大な企業のトップ。トップはトップでも、トップリーダーではないという印象。その点、オーナー企業はよくもわるくも、それ相応の顔つきをしている。

一見怖そうでダイナミックな振る舞いの中に、繊細で柔和な気配りがある。いつも穏やかながら、ここぞという時には、鋭く厳しく迫る。見返りなしに、時間もお金も使い人の飛躍をよるこぶ。などなど、それぞれの個性がキラリと光る経営者たちを身近に知る。みな独特のオーラあり。

そのオーラは勝手にはついてこない。『経営者は孤独』と言われるだけの背景があつてのこと。喜怒哀楽に満ちた多くの出来事、まさに紆余曲折をくぐり、今もくぐり続ける。おのずと思考も顔つきも、変わってくる。自分で勝ち取ったオーラ。そういうトップリーダーに敬意。

2016/5/17
(火)

うつぼ公園

薫風五月、この季節は、仕事のためにも、散歩するのがよし。





2016/5/19
(木)

手書き

連日の晴天。日差しはつよいが、いまのところ空気が乾燥していてさわや。それも時間の問題、うつぼ公園のアジサイが咲き始めていた。明日は小満、近畿の梅雨入りも視野に。

今月初めに買った新しいパソコン、ノート画面とキーボードの感触にまだ目と手が慣れない。おまけにオフィスの使い勝手。スマートじゃない。余計な作りになっているという印象。

それでも使うしかない。今日はある案件の概念図を書き始めた。我慢しながら使っていたが、はかどらない。いいかげんイヤになり、中断した。手書きに切り替え、頭を展開させることにした。

書き直しのないよう気を張るのがいい。ちょうどよい緊張感が助けになるのか、紙面にどうアウトプットすればわかりやすいか、レイアウトのアイデアが自然にわいてきた。後はPCを使うとしよう。何事もバランス。

2016/5/30
(月)

五感

午後から晴れてきた。昨夕からの雨のおかげで、今日は空気が冷えた。一息ついた。先週木曜はまいった。梅雨のようなどんよりとした空と蒸し暑さ。セミナー初日でジャケットを着ていったものだから、のぼせたような感じ。梅雨も近い。やはり、クールビズで。

さてさて、まだ完全にはノートPCに慣れず、なんとなく、ここに書くのが遠のいた。購入してほぼひと月。最新版のオフィスによく慣れてきたから、徐々にこれまでの感覚をとりもどす。そこであらためて感じる、人間の五感の働きを。視覚、そしてPCに関しては触覚が心理に与える影響。

情報経路として視覚が83%を占めるというのはよく知られるところ。次いで聴覚が11%で、その他はほんの数%。割合が少ないと軽視されがちだが、五感相乗的なものはずだから、3.5%という嗅覚などは、いぶしぎんの働きをしているのではないかと思う。

ずいぶん前に読んだ新聞記事。嗅覚のもとになる嗅球は一年で70%が新旧入れ替わると書いてあった。年齢がいてもその割合はほとんど変わらないらしい。4%未満の嗅覚が他の感覚の精度の鍵になっている、とまでは言えないかもしれない。

晴れのお天気が続いて急に雨が降り始めた時の街のほこりを含んだような匂い、新緑の雑木林の中にただよう初々しく青い匂い、近鉄鶴橋駅ホームにけむる焼肉の匂い、などなど。情緒や食欲を誘うのだから、やはり、割合は小さくても大きな働き。

嗅覚よりもさらに割合の小さな触覚。これについても、注目。たぶん気分が大きく影響しているのではないかと考える。今年1月の新聞記事によると、最近の研究で触覚を3つの要素に分解可能とわかってきたとか。振動、圧力、温度。

こういうことになぜ関心をもつのかというと、毎日のことだから。自分では意識しなくても、いつも何かをみて、聞いて、云々。知らず知らずうちに自分の気持ちや感情、はたまた意思決定に影響を与えていることもありえるから。そうではなくても、客観的にもものをみる役には立ちます。

2016/5/31 東洋陶磁美術館
(火)

大阪にこの美術館があって本当によかった。イメージアップに貢献していると常々思っている。近場で＜文化的＞な気分になりたい時には格好の施設でもある。今回は、ずいぶん前からこの特別展示は行こうと決めていた。偶然通りがかった時に玄関の案内ポスターをみて、引かれた。

閉館時間の1時間20分ほど前に入館した。時間は足りると思った。それが足りなかった。後半部分はほとんど素通り。その段階で、もう一度来ようと決めた。第一展示室へ入り、目に飛び込んだ作品。“わぁ…！”と吸い寄せられた。感嘆ひとしきり。



* 事後メモ

やっとパソコンを新しくした5月。機能もサイズも価格も、条件にピッタリな一点を獲得、本当にラッキーだった。前回の時も、便利になったと思ったものだが、今回はさらに感心。旧のプリンターもデジカメも、専用のドライバーをインストールしなくても使える。余計は時間も出費もなくて、助かった。